



報道関係者各位

2017年4月11日

青森県立保健大学

## 大学評価（認証評価）「適合」の認定

### I. 概要認証評価

学校教育法第109条第2項の定めにより、国公立の全ての大学は7年以内に1回、文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）による第三者評価（認証評価）を受けなければならない。

### II. 認証評価機関

認証評価機関は3機関あり、青森県立保健大学は公益財団法人大学基準協会に加盟し、認証評価を受審している。

### III. 今回の認証評価結果概要

#### (1) 評価結果

平成29年4月1日付けで、「公益財団法人大学基準協会の大学基準に『適合』している」と認定された。

#### (2) 認定期間

平成29年4月1日から平成36年3月31日まで（7年間）

#### (3) 特記事項

- ・大学教員の成長を支援し向上させるための指針に基づく取組等、教員の資質向上を目的とした取組が積極的に行われている。
- ・「ヘルスリテラシー」向上という目標達成のため、公開講座や地域での人材育成のための研修の実施、県内自治体やNPO法人等との連携により「健康あおもり21（第2次）」の推進に寄与するための取組が行われている。
- ・「ケア付き青森ねふた（じょっぱり隊）」は、ノーマライゼーションを啓発・普及させることの一翼を担っている。

### IV. 参考（過去の認定期間）

1回目 平成17年4月1日～平成22年3月31日（5年）

2回目 平成22年4月1日～平成29年3月31日（7年）

3回目 平成29年4月1日～平成36年3月31日（7年）

※公益財団法人大学基準協会においては、1回目は加盟判定を兼ねる認証評価のため認定期間を5年としている。

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2102

担当：評価改善担当 鈴木

（事務担当：経営企画室 永澤）

\*\*\*\*\*



報道関係者各位

2017年4月11日  
青森県立保健大学

## 2017年度青森県立保健大学重点事業“11（イレブン）”について

2017年度に本学が取り組む事業の中で、特に重点的に取り組んでいく11項目について、ご紹介いたします。

### 1. 新3つのポリシーに基づくカリキュラム改定の実施

【重点事業1】：＜健康科学部＞3つのポリシー※1の再定義にもとづく第5次カリキュラムの構築ならびに文科省申請

【重点事業2】：＜健康科学研究科＞新カリキュラムによる大学院教育の開始

### 2. 入学者選抜と人材輩出の在り方の検討

【重点事業3】：入学者選抜方法と入学後の成績との関連に関する分析及び新入試制度の検討

【重点事業4】：就職先・同窓生との連携強化と求人情報の提供強化

### 3. 学生支援方策の充実

【重点事業5】：導入時教育の充実

【重点事業6】：調査に基づく学生満足度向上のためのサポート体制の強化

### 4. ヘルスリテラシー向上への取り組み（教育、地域貢献、研究活動）

【重点事業7】：ヘルスリテラシー向上に資する能力育成のための科目編成、第5次カリキュラム改定への組み入れ

【重点事業8】：ヘルスリテラシー向上に資する学生参画型の地域活動の推進

【重点事業9】：地域の課題解決に向けたプロジェクト型研究活動の推進

### 5. 大学の管理運営 ー大学職員の資質向上

【重点事業10】：教員評価制度の見直しと新たな評価システムの策定

【重点事業11】：教職員の能力及び資質向上のためのSD※2研修の計画的な実施

※1 3つのポリシー…ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

※2 SD（Staff Development）…教職員の能力向上（のための各種活動）

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2000

担当：理事長 上泉 和子

（事務担当：経営企画室 今野）

\*\*\*\*\*



報道関係者各位

2017年 4月11日  
青森県立保健大学

## 平成28年度卒業生の国家試験受験結果について

### ○ 平成28年度国家試験受験結果について

下記のとおり7つの国家試験種別があり、本学の合格率は、助産師を除く全てで全国平均を上回る結果となった。

特に、社会福祉学科の社会福祉士合格率84.0%は、全国第1位（受験者50名以上の学校70校中）であった。

卒業期 (年度)	学科名 試験種別	看護学科			理学療法学科	社会福祉学科		栄養学科
		看護師	保健師	助産師	理学療法士	社会福祉士	精神保健福祉士	管理栄養士
14期生 ⑰	受験者	108	34	5	34	39	13	31
	合格者	107	34	5	32	36	11	28
	<b>本学合格率</b>	<b>99.1%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>94.1%</b>	<b>92.3%</b>	<b>84.6%</b>	<b>90.3%</b>
	全国平均	94.9%	92.6%	99.8%	82.0%	26.2%	61.6%	85.1%
15期生 ⑱	受験者	105	31	4	34	50	12	H29.5.9
	合格者	104	31	3	34	42	12	発表
	<b>本学合格率</b>	<b>99.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>75.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>84.0%</b>	<b>100.0%</b>	
	全国平均	94.3%	94.5%	93.2%	96.3%	25.8%	62.0%	

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学 事務局教務学生課

国語担当（藤倉） 017-765-2007

\*\*\*\*\*

# 第1～15期生の国家試験受験結果について

H29年3月現在

卒業期 (年度)	学科名 試験種別	看護学科			理学療法学科	社会福祉学科		栄養学科
		看護師	保健師	助産師	理学療法士	社会福祉士	精神保健福祉士	管理栄養士
1期生 ⑭	受験者	98	95	10	20	36		
	合格者	96	81	8	20	21		
	<b>本学合格率</b>	<b>98.0%</b>	<b>85.3%</b>	<b>80.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>58.3%</b>		
	全国平均	92.6%	91.5%	89.2%	98.5%	31.4%		
2期生 ⑮	受験者	102	104	10	18	37		
	合格者	99	91	9	18	25		
	<b>本学合格率</b>	<b>97.1%</b>	<b>87.5%</b>	<b>90.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>67.6%</b>		
	全国平均	91.2%	92.3%	96.2%	97.9%	28.5%		
3期生 ⑯	受験者	95	104	10	23	39		
	合格者	91	88	10	22	28		
	<b>本学合格率</b>	<b>95.8%</b>	<b>84.6%</b>	<b>100.0%</b>	<b>95.7%</b>	<b>71.8%</b>		
	全国平均	91.4%	81.5%	99.7%	94.9%	29.8%		
4期生 ⑰	受験者	96	105	10	21	44		
	合格者	87	76	9	20	30		
	<b>本学合格率</b>	<b>90.6%</b>	<b>72.4%</b>	<b>90.0%</b>	<b>95.2%</b>	<b>68.2%</b>		
	全国平均	88.3%	78.7%	98.1%	97.5%	28.0%		
5期生 ⑱	受験者	93	103	8	19	43	10	
	合格者	91	103	8	18	24	9	
	<b>本学合格率</b>	<b>97.8%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>94.7%</b>	<b>55.8%</b>	<b>90.0%</b>	
	全国平均	90.6%	99.0%	94.3%	93.2%	27.4%	60.3%	
6期生 ⑲	受験者	99	109	8	21	41	6	
	合格者	98	96	7	18	31	6	
	<b>本学合格率</b>	<b>99.0%</b>	<b>88.1%</b>	<b>87.5%</b>	<b>85.7%</b>	<b>75.6%</b>	<b>100.0%</b>	
	全国平均	90.3%	91.1%	98.1%	86.6%	30.6%	60.4%	
7期生 ⑳	受験者	104	113	8	18	41	9	
	合格者	102	111	8	18	33	9	
	<b>本学合格率</b>	<b>98.1%</b>	<b>98.2%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>80.5%</b>	<b>100.0%</b>	
	全国平均	89.9%	97.7%	99.9%	90.9%	29.1%	61.7%	
8期生 ㉑	受験者	94	102	7	23	39	11	
	合格者	93	92	6	23	29	11	
	<b>本学合格率</b>	<b>98.9%</b>	<b>90.2%</b>	<b>85.7%</b>	<b>100.0%</b>	<b>74.4%</b>	<b>100.0%</b>	
	全国平均	89.5%	86.6%	83.1%	92.6%	27.5%	63.3%	
9期生 ㉒	受験者	100	109	7	21	37	15	
	合格者	99	98	7	18	29	14	
	<b>本学合格率</b>	<b>99.0%</b>	<b>89.9%</b>	<b>100.0%</b>	<b>85.7%</b>	<b>78.4%</b>	<b>93.3%</b>	
	全国平均	91.8%	86.3%	97.2%	74.3%	28.1%	58.3%	
10期生 ㉓	受験者	102	108	5	29	50	17	33
	合格者	100	100	5	29	44	17	31
	<b>本学合格率</b>	<b>98.0%</b>	<b>92.6%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>88.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>93.9%</b>
	全国平均	95.1%	89.2%	96.0%	82.4%	26.3%	62.6%	91.6%
11期生 ㉔	受験者	101	106	4	31	50	7	33
	合格者	100	105	4	29	31	6	32
	<b>本学合格率</b>	<b>99.0%</b>	<b>99.1%</b>	<b>100.0%</b>	<b>93.5%</b>	<b>62.0%</b>	<b>85.7%</b>	<b>97.0%</b>
	全国平均	94.1%	97.5%	98.9%	88.7%	18.8%	56.9%	82.7%
12期生 ㉕	受験者	106	114	5	31	47	14	33
	合格者	105	110	5	31	36	14	32
	<b>本学合格率</b>	<b>99.1%</b>	<b>96.5%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>76.6%</b>	<b>100.0%</b>	<b>97.0%</b>
	全国平均	95.2%	88.8%	97.6%	90.2%	27.5%	58.3%	91.2%
13期生 ㉖	受験者	106	117	3	33	49	14	32
	合格者	104	117	3	33	34	14	31
	<b>本学合格率</b>	<b>98.1%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>69.4%</b>	<b>100.0%</b>	<b>96.9%</b>
	全国平均	95.5%	99.6%	99.9%	89.1%	27.0%	61.3%	95.4%
14期生 ㉗	受験者	108	34	5	34	39	13	31
	合格者	107	34	5	32	36	11	28
	<b>本学合格率</b>	<b>99.1%</b>	<b>100.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>94.1%</b>	<b>92.3%</b>	<b>84.6%</b>	<b>90.3%</b>
	全国平均	94.9%	92.6%	99.8%	82.0%	26.2%	61.6%	85.1%
15期生 ㉘	受験者	105	31	4	34	50	12	H29.5.9
	合格者	104	31	3	34	42	12	発表
	<b>本学合格率</b>	<b>99.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>75.0%</b>	<b>100.0%</b>	<b>84.0%</b>	<b>100.0%</b>	
	全国平均	94.3%	94.5%	93.2%	96.3%	25.8%	62.0%	

## 社会福祉学科 社会福祉士・精神保健福祉士 国家試験結果について

青森県立保健大学健康科学部  
社会福祉学科長 大山 博史1. 社会福祉士国家試験について

## 1) 試験概要

- ・社会福祉士は「社会福祉士及び介護福祉士法」に基づく相談援助の国家資格。
- ・毎年 1 月末に全国 24 ヶ所で国家試験が実施される。全国合格率は例年 30% 程度。
- ・試験科目は 19 科目（150 問）の筆記試験。（法律改正によって平成 21 年度国家試験より、13 科目 150 問から 19 科目 150 問となった。）
- ・平成 28 年度は平成 29 年 1 月 29 日（日）が試験日で、合格発表は 3 月 15 日。
- ・資格取得者は社会福祉施設や行政機関の他、専門学校などの教育機関、病院、企業などにも就職している。

## 2) 平成 28 年度国試結果（平成 29 年 1 月 29 日試験、3 月 15 日合格発表）

本学 15 期生受験者数 50 名

合格者数 42 名

合格率 84.0%

全国合格率 25.8%

全国学校別（新卒受験者 10 名以上）合格率順位 7 位（173 校中）

（新卒受験者 50 名以上）合格率順位 1 位（70 校中）

## 3) 本学科のこれまでの実績

本学科の状況 (1～4 期生)	1 期生 (平成 14 年度)	2 期生 (平成 15 年度)	3 期生 (平成 16 年度)	4 期生 (平成 17 年度)
	36 名中 24 名合格 (66.6%)	37 名中 25 名合格 (67.5%)	39 名中 28 名合格 (71.7%)	44 名中 30 名合格 (68.1%)
全国合格率	29.3%	28.5%	29.8%	28%
本学科の状況 (5～8 期生)	5 期生 (平成 18 年度)	6 期生 (平成 19 年度)	7 期生 (平成 20 年度)	8 期生 (平成 21 年度)
	42 名中 24 名合格 (57.1%)	41 名中 31 名合格 (75.6%)	41 名中 33 名合格 (80.5%)	39 名中 29 名合格 (74.4%)
全国合格率	27.4%	30.6%	29.1%	27.5%
本学科の状況 (9～12 期生)	9 期生 (平成 22 年度)	10 期生 (平成 23 年度)	11 期生 (平成 24 年度)	12 期生 (平成 25 年度)
	37 名中 29 名合格 (78.4%)	51 名中 44 名合格 (88.0%)	50 名中 31 名合格 (62.0%)	47 名中 36 名合格 (76.6%)
全国合格率	28.1%	26.3%	18.8%	27.5%
本学科の状況 (13～14 期生)	13 期生 (平成 26 年度)	14 期生 (平成 27 年度)	15 期生 (平成 28 年度)	
	49 名中 34 名合格 (69.4%)	39 名中 36 名合格 (92.3%)	50 名中 42 名合格 (84.0%)	
全国合格率	27.0%	26.2%	25.8%	

## 2. 精神保健福祉士国家試験について

### 1) 試験概要

- ・「精神保健福祉士」は、平成9年から施行された精神保健福祉士法に基づく精神障害者の社会復帰に関する相談援助の国家資格。
- ・試験会場は全国7ヶ所で国家試験が実施されるが、青森には試験会場がない。全国合格率は例年60%程度。
- ・試験科目は17科目（163問。ただし、そのうち11科目は社会福祉士と共通）の筆記試験。（法律改正によって平成24年度国家試験より、15科目156問から17科目163問となった。）
- ・平成28年度は、平成29年1月28日（土）と29日（日）が試験日で合格発表は3月15日。
- ・資格取得者は精神科病院や行政機関、地域活動支援センターなどに就職している。
- ・本学としては5期生からの受験開始。今年度15期生は11度目の受験となった。

### 2) 平成28年度国試結果（平成29年1月28・29日試験、3月15日合格発表）

本学15期生受験者数	12名
合格者数	12名
合格率	100.0%
全国合格率	62.0%

### 3) 本学科のこれまでの実績

本学科の状況 (5～8期生)	5期生 (平成18年度)	6期生 (平成19年度)	7期生 (平成20年度)	8期生 (平成21年度)
	10名中9名合格 (90.0%)	6名中6名合格 (100%)	9名中9名合格 (100%)	11名中11名合格 (100%)
全国合格率	60.3%	60.4%	61.7%	63.3%
本学科の状況 (9～12期生)	9期生 (平成22年度)	10期生 (平成23年度)	11期生 (平成24年度)	12期生 (平成25年度)
	15名中14名合格 (93.3%)	17名中17名合格 (100%)	7名中6名合格 (85.7%)	14名中14名合格 (100%)
全国合格率	58.3%	62.6%	56.9%	58.3%
本学科の状況 (13～14期生)	13期生 (平成26年度)	14期生 (平成27年度)	15期生 (平成28年度)	
	14名中14名合格 (100%)	13名中11名合格 (84.6%)	12名中12名合格 (100%)	
全国合格率	61.3%	61.6%	62.0%	

### 3. 本学科の国家試験受験対策への支援

- ・卒業生による国家試験受験体験報告・就職体験報告会の実施（平成28年7月21日実施。卒業生を招いて、国家試験の準備、受験時の様子、勉強方法などの体験談を聞くことで、国家試験への動機づけを行う。同時に就職体験報告も行っている。）
- ・社会福祉士・精神保健福祉士全国統一模擬試験の実施  
実施日：平成28年11月2日（精神）、3日（共通・社福）  
主催：一般社団法人日本社会福祉士養成校協会  
一般社団法人日本精神保健福祉士養成校協会  
会場：青森県立保健大学  
対象者：社会福祉学科4年生 国家試験受験希望者50名  
受験者数：49名  
受験率：98.0%
- ・模擬試験結果に基づいた直前対策講座の実施（受験予定のほぼ全員が出席）
- ・各種業者や団体が行う国家試験受験対策講座や模擬試験に関する情報提供
- ・国家試験情報の提供（掲示、ガイダンス等）
- ・国家試験受験に必要な手続きに関する支援
- ・各種過去問題集・模擬問題集・参考書等の案内  
\*問題集等については、図書館と統計情報実習室、教員談話室に配置し、学生が自由に活用し学習できるようにしている。

これらを活用し、学生達が自主的に勉強会、自主ゼミ、模擬試験を行うなどして主体的に国家試験対策に取り組むことができるよう教員側もサポートしている。



報道関係者各位

2017年4月11日  
青森県立保健大学

## 平成28年度卒業生の就職状況について

### 1. 就職状況について（別添資料）

平成28年度卒業生の3月31日現在の就職状況は、卒業生数233名のうち、進学者等4名を除く就職希望者229名中、227名が就職しており、就職率は99.1%である。

対前年度比は、以下のとおりである。

年度	卒業生数 A	進学者等数 B	就職希望者 数C(A-B)	就職者数 D	就職率 E(D/C)	うち県内就職者数 F	県内就職率 G(F/D)
27	222名	9名	213名	210名	98.6%	82名	39.0%
28	233名	4名	229名	227名	99.1%	86名	37.9%

- 学部全体の就職率は99.1%（3月31日現在）で、過去最高であった平成24年度と同率の就職率を達成した。
- 学科ごとでは、看護学科100%、理学療法学科96.8%、社会福祉学科100%、栄養学科97.0%である。
- 県内就職者は昨年度の39.0%から1.1ポイントダウンし、37.9%となったが、実数ベースでは4名の増となっている。

### 2. 平成29年度就職合同説明会開催予定

- (1) 県内就職合同説明会（看護学科・社会福祉学科・栄養学科対象）  
平成29年5月13日（土）13:00～16:00 本学交流センター
- (2) 県外就職合同説明会（看護学科・社会福祉・栄養学科対象）  
平成29年6月3日（土）13:00～16:00 青森産業会館
- (3) 理学療法学科対象就職合同説明会（県内・県外）  
平成29年7月22日（土）13:00～16:00 本学交流センター
- (4) 県内秋季就職合同説明会（社会福祉・栄養学科対象）  
平成29年11月8日（水）14:10～17:00 C棟コミュニティホール

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学 事務局教務学生課

担当（小向） 017-765-2144

\*\*\*\*\*



# 青森県立保健大学

〈平成28年度就職率〉

平成29年3月31日現在

(単位:人)

学科	15期生(H29.3.31現在)					14期生(H28.3.31現在)						
	卒業 予定者数	就職 希望者	最終内定 届 提出者 (再掲)	現時点 での県内 就職率	就職率	卒業 予定者数	就職 希望者	最終内定 届 提出者 (再掲)	現時点 での県内 就職率	就職率		
看護学科	県内出身者 62 ※うち、進学予定者	県内 出身者 62	県内 32	県内	29.4% (29.4%)	100.0%	県内出身者 77 ※うち、進学予定者 2	県内 出身者 75	県内 43	県内	40.4% (40.0%)	99.1%
	※その他		県外 30				県外 31					
	学科計 109	学科計 109	学科計 109	109			学科計 117	学科計 110	学科計 109	109		
	※その他	計 62	32	計 74			44					
理学療法学科	県内出身者 18 ※うち、進学予定者 2	県内 出身者 16	県内 10	県内	36.7% (35.5%)	96.8%	県内出身者 18 ※うち、進学予定者 1	県内 出身者 17	県内 6	県内	19.4% (18.2%)	93.9%
	※その他		県外 5				県外 10					
	学科計 34	学科計 31	学科計 30	30			学科計 34	学科計 33	学科計 31	31		
	※その他	計 15	11	計 16			6					
社会福祉学科	県内出身者 32 ※うち、進学予定者	県内 出身者 32	県内 25	県内	51.8% (51.8%)	100.0%	県内出身者 26 ※うち、進学予定者	県内 出身者 26	県内 22	県内	61.5% (61.5%)	100.0%
	※その他		県外 7				県外 4					
	学科計 56	学科計 56	学科計 56	56			学科計 40	学科計 39	学科計 39	39		
	※その他	計 32	29	計 26			24					
栄養学科	県内出身者 20 ※うち、進学予定者 1	県内 出身者 19	県内 12	県内	43.8% (42.4%)	97.0%	県内出身者 13 ※うち、進学予定者	県内 出身者 13	県内 7	県内	25.8% (25.8%)	100.0%
	※その他		県外 7				県外 6					
	学科計 34	学科計 33	学科計 32	32			学科計 31	学科計 31	学科計 31	31		
	※その他	計 19	14	計 13			8					
学部合計	県内出身者 132 ※うち、進学予定者 3	県内 出身者 129	県内 79	県内	37.9% (37.6%)	99.1%	県内出身者 134 ※うち、進学予定者 3	県内 出身者 131	県内 78	県内	39.0% (38.5%)	98.6%
	※その他		県外 49				県外 51					
	学科計 233	学部計 229	学部計 227	227			学部計 222	学部計 213	学部計 210	210		
	※その他	計 128	86	計 129			82					
学部合計	県内出身者 101 ※うち、進学予定者 1	県外 出身者 100	県内 7	県外	37.9% (37.6%)	99.1%	県内出身者 88 ※うち、進学予定者 5	県外 出身者 82	県内 4	県外	39.0% (38.5%)	98.6%
	※その他		県外 92				県外 77					
	学科計 233	学部計 229	学部計 227	227			学部計 222	学部計 213	学部計 210	210		
	※その他	計 99	141	計 81			128					

※県内内定率の( )は就職希望者学科計に対する県内就職内定率



報道関係者各位

2017年4月11日  
青森県立保健大学

## 平成29年度公開講座の開催について

本学では『生活と健康』を基本テーマに平成29年度は「健康生活の実践—ヘルスリテラシー（健やか力）を暮らしに根づかせよう—」と題し、公開講座を開催します。あおもり県民カレッジの単位認定講座でもあり、年5回の開催のうち3回以上受講された方には、学長名の修了証を発行します。

### I. 年間プログラム

①14:00～(6/24は13:00～) ②15:20～(6/24は14:20～)

第1回 5月27日(土)

- ① テーマ：地域で守る子どもたちの未来—知っておきたい子どもの救急リテラシー—  
講 師：田中 栄利子(看護学科講師)
- ② テーマ：地域を支える救急医療—とっさの時、あわてないために—  
講 師：千葉 武揚(看護学科助教)

第2回 6月10日(土) ※アウガ会場(「まちなかキャンパス」共催：青森商工会議所)

- ① テーマ：健康生活に役立つ運動のヒント  
講 師：木村 文佳(理学療法学科助手)
- ② テーマ：「1日1個のリンゴで医者いらず」を科学する  
講 師：井澤 弘美(栄養学科准教授)

第3回 6月24日(土) ※下北会場

- ① テーマ：障がいを抱えても自分らしく生きるために  
講 師：新岡 大和(理学療法学科助教)
- ② テーマ：変化する社会保障制度の背景を理解しよう！  
講 師：村田 隆史(社会福祉学科講師)

第4回 7月8日(土)

- ① テーマ：県民課題としてのヘルスリテラシーの向上  
講 師：小山内 豊彦(社会福祉学科特任教授)
- ② テーマ：自分のヘルスリテラシーアップに挑戦しよう  
講 師：上泉 和子(理事長・学長・健康科学研究科教授)

第5回 7月22日(土)

- ① テーマ：皮膚のアンチエイジングで健康で長生きしよう  
講 師：今 淳(栄養学科教授)
- ② テーマ：がんの予防—さまざまながんをどこまで予防できるか、具体的に考える—  
講 師：大西 基喜(看護学科特任教授)

### II. 会場

青森県立保健大学講堂(第2回はアウガ5階AV多機能ホール、第3回は下北文化会館)

### III. 対象

どなたでも参加できます。

### IV. その他

- ・第2回(アウガ会場)及び第3回(下北会場)を除き、13:00～13:45の間で、サークルによる発表を行う予定です(調整中)。
- ・第3回(下北会場)では、公開講座終了後15:30～17:00に進学相談会を開催します。

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬58-1

TEL:017-765-4085 FAX:017-765-2021

担当：地域連携科長 出雲祐二

(事務担当：地域連携推進課 佐藤)

\*\*\*\*\*



報道関係者各位

2017年4月11日  
青森県立保健大学

## 看護未来展 2017—看護サービスの新しいステージを目指す専門展— 出展について

### I. ご案内

この度、本学保有特許「医療廃棄物容器（特許第6014815号）」を基にした商品プロトタイプについて、看護未来展 2017 に出展し、紹介いたします。

「医療廃棄物容器」は、本学看護学科から初めて特許登録され、産学連携により事業化に向けて取り組んでいます。この特許に基づいた商品プロトタイプの製作について企業と共同研究契約を締結し、改良を進めています。今回は、販路の確保などを目的として、訪問看護に重きを置いている看護未来展 2017 に出展することとしました。

### II. 看護未来展 2017 について

(※添付資料は看護未来展 2017 のパンフレットです。)

主催 看護未来展実行委員会

公益財団法人 大阪府看護協会・一般社団法人 大阪府訪問看護ステーション協会・テレビ大阪  
・テレビ大阪エクスプロ

同時開催 バリアフリー展 2017、慢性期医療展 2017

日時 平成 29 年 4 月 20 日 (木)  
～4 月 22 日 (土) 3 日間

会場 インテックス大阪  
(大阪市住之江区南港北 1-5-102)

展示品 携帯用医療廃棄物容器



### III. その他

これまでの展示会の出展実績や今後の出展予定等センターの活動については、ホームページ (<http://www.crip-auhw.jp/>) も御参照下さい。お問い合わせはお気軽に下記担当までお願いいたします。

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学 研究推進・知創推進センター

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-4085 FAX:017-765-2021

担当：研究推進・知創推進センター長 佐藤 伸

(事務局担当：地域連携推進課 笠原)

\*\*\*\*\*



報道関係者各位

2017年 4月11日  
青森県立保健大学

## 健康科学演習（鱒ヶ沢フィールドワーク）

### I. 概要

4学科の全1年生(約230人)が、鱒ヶ沢町の協力を得ながらフィールドワークを実施します。学生は4学科混成の小グループ(1グループ7, 8人)に分かれて担当地区内の全戸訪問を実施し、住民の健康観・地域に対する意識などを尋ねます。

なお、学生が地域住民に健康診断や健康習慣について尋ねることによって、住民の健康意識の向上等に繋がることを鱒ヶ沢町としては期待して協力してくださっていると伺っています。

### II. 注目点

1年生前期に必修科目として実施するもので、本学の教育の特色のひとつである多職種連携を学ぶ機会であり、現地の人たちにも、そして参加する学生にも、新たな刺激や学びがあると高評価を頂いています。

### III. 実施日・場所

実施日：平成29年5月15日

場 所：鱒ヶ沢町鱒ヶ沢地区

協 力：鱒ヶ沢町健康ほけん課

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬58-1

TEL:017-765-2074 FAX:017-765-2074

担当：杉山 克己（社会福祉学科）

\*\*\*\*\*



報道関係者各位

2017 年 4 月 11 日  
青森県立保健大学

COC+事業 女子学生のキャリア支援WG 企業向けセミナー（好評につき第2弾！）

## 「新卒看護職の採用力向上セミナー」【入門編】

～あなたの職場の魅力、うまくアピールできていますか？～

平成 27 年から弘前大学が展開する地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に参画し、大学生の県内就職・定着に向けて取り組んでいます。本学では、女子学生のキャリア支援WGの主査校として事業展開しています。

このWGの取組の一つとして企業向けセミナー「新卒看護職の採用力向上セミナー」【入門編】を開催します。看護師や福祉系人材は、都会の大病院等との人材獲得合戦が繰り広げられています。県内で育った優秀な人材を獲得するために、情報発信力を身に付けることを目的としたセミナーです。2016年に開催した【入門編】が好評だったことから、対象範囲を広げ再度開催するものです。

第1部は、今の新卒採用の現状や最新のトレンドと、話を聞きながら、採用に当たっての課題や戦略について、具体的に、わかりやすく解説をいたします。

第2部は、それぞれの施設の採用に対する課題・魅力を発見するためのワークショップをします。

### I. 日時・場所

日 時：6月10日（土）10：00～15：00

場 所：ラ・プラス青い森 2F メープル

対 象：青森県内の新卒看護職採用を予定している施設

参加条件：1施設2～5名のグループ（看護部門管理者と人事・採用担当事務員が含まれること）

参加費：無料

定 員：10施設

### II. 主な内容

【第1部】パネルディスカッション

今の新卒採用の現状や事例紹介と、最新のトレンドについてお話ししながら、採用に当たっての課題や戦略について、具体的に・わかりやすく解説をいたします。

【第2部】ワークショップ

グループワークを通して、それぞれの病院の採用に対する課題・魅力を改めて発見します。

### III. ゲスト

第1部 (株)オフィス55 代表取締役 高木 茂

(株) エス・エム・エスカリア ナース専科就職ナビグループ責任者

第2部 コーディネーター オフィス円香 大坂 彰子

※なお、【実践編】を11月4日（土）に開催予定です。

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬58-1

TEL:017-765-2144 FAX:017-765-2188

担当：教務学生課 小向

\*\*\*\*\*



# Press Release

## 資料 9



報道関係者各位

2017 年 4 月 11 日  
青森県立保健大学

COC+事業 女子学生のキャリア支援WG 学生向けセミナー

### 「くらす?はたらく」 Session 2 ～ お金?時間 ～

平成 27 年から弘前大学が展開する地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）に参画し、大学生の県内就職・定着に向けて取り組んでいます。本学では、女子学生のキャリア支援WGの主査校として事業展開しています。

このWGの取組の一つとして、大学生向けセミナー「くらす?はたらく」シリーズ第 2 弾「お金?時間」を開催します。

「キャリアを考える～ライフ編」として、「お金と時間」を取り上げ、ゲストのキャリアとお金・時間についての経験談を聞き、レクチャーとして日本人の生活時間統計、家計調査などの情報を参考にしつつ、現在の自分の暮らし、これからの自分の暮らしを考えます。

#### I. 日時・場所

日 時：6月17日（土）13:00～16:00

場 所：青森県立保健大学

対 象：県内の大学生（短大・専修含む）なら男女問わず（弘前方面送迎バスあり）

参加費：無料

定 員：30名

#### II. 主な内容

【第 1 部】ゲストトークセッション

【第 2 部】ゲスト&学生 ワークショップ

#### III. ゲスト

- ① 看護師（夜勤あり）
- ② 管理栄養士（時差出勤あり）
- ③ 保育士
- ④ 一般企業従事者

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間瀬 58-1

TEL:017-765-2144 FAX:017-765-2188

担当：教務学生課 小向

\*\*\*\*\*



報道関係者各位

2017年 4月 11日

青森県立保健大学

## 南部町との協定事業 ～成長期における身体機能改善プロジェクト～

### I. 目的

本プロジェクトでは総合的な身体活動と栄養指導の支援を行い、小学生の健康維持や向上において必要な基礎的資料の獲得を目的とする。

### II. 事業の内容

#### ▶対象者

対照群は小学校4年生13名(男:8名、女:5名)と5年生10名(男:5名、女:5名)

介入群は小学校4年生23名(男:12名、女:11名)と5年生21名(男:10名、女:11名)

#### ▶測定項目及び解析

部位別身体組成、体力(文部科学省の新体力テスト)、足指筋力、身体活動量、平衡機能、呼吸機能、骨密度の測定を実施した。解析は介入前の5月と介入終了後の11月でのデータを用いた。プロジェクトに参加した児童の保護者には生活習慣や食事に関するアンケート調査を介入前と介入終了後に実施した。

#### ▶介入内容

介入群の児童に対しては、平成28年5月～11月の水曜日に小学校の体育館(フロアエクササイズ)で、土曜日は近隣のプール(水中エクササイズ)で各週1回、併せて週2回の頻度で総合的な身体活動の介入を実施した。フロアでの具体的な内容はバランストレーニング、体幹強化運動、胸郭拡張運動、吹き矢、ロウソク消し、腹式呼吸方法などであった。プールではバブリング、アクアビックス、パドル、浮力を用いた抵抗運動、水中ゲームなどを実施した。また、栄養指導を上記期間中に計8回実施し、飲み物、おやつ、食事バランスなどに関する指導を行った。

### III. 成果 今後の展開

- ▶**体力** : 対照群の児童と運動介入群の児童の体力は、5月に比べて11月にいずれの群も上昇し、成長に伴う変化と考えられる。一方、運動介入群である児童は対照群の児童より上昇率が高い結果となった。
- ▶**身体組成** : 身長と体重の変化率は、対照群の児童より運動介入した児童の方が高く、それに伴う筋量や基礎代謝量が高くなった。とくに、運動介入群における左右の下肢と体幹の筋量が顕著に増加した。一方、脂肪関連項目については両群ともに増加傾向が見られた。
- ▶**骨密度** : 骨密度の変化について対照群の児童では顕著な変化が見られなかった。それに対して、介入群の児童では4・5年生ともに上昇傾向が見られ、とくに5年生の骨密度の上昇率が高かった。
- ▶**肺機能** : 肺機能は対照群に比べて介入群が顕著な上昇(改善)を示した。とくに、介入群の努力性肺活量、1秒量などの肺機能の改善が顕著であった。一方、一部の児童では5月と11月の結果で極めて大きな差が見られたが、測定の慣れによる結果と考えられる。

これらの事より、成長に伴う通常の身体機能の変化以上に、プロジェクト介入による身体機能の変化がよりポジティブな結果につながる事が示唆された。今後、2017年度にも本事業を継続し、成長期に必要な身体機能向上の方法をまとめる。

問い合わせ\*\*\*\*\*

青森県立保健大学

〒030-8505 青森市浜館間58-1

TEL:017-765-2017 FAX:017-765-2017

担当:鈴木、李 (理学療法学科)

\*\*\*\*\*